

# 好生館 だより

KOSEIKAN  
DAYORI

2019.7

Vol. 43



地方独立行政法人  
佐賀県医療センター 好生館  
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN  
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



写真:七夕飾り贈呈式  
日新保育園の園児のみなさん

## CONTENTS

[メッセージ]  
理事長あいさつ／館長あいさつ……………1

[好生館ニュース]  
統合準備室の新設／脳卒中ケアユニット(SCU)開設 他……………2

[診療科の紹介]  
脊椎外科／救急科……………3  
循環器内科／膠原病・リウマチ内科……………4  
看護部だより……………5

周産期母子センターの紹介／放射線部の紹介／感染制御部だより ……6  
共同利用病床登録医療機関のご紹介……………7  
患者・家族総合支援部だより……………8  
お仕事の話／医療安全管理部だより／事務部だより……………9  
瑞宝双光章受章／教育センター／医療情報部……………10  
外来医師一覧表……………11

# Message

—メッセージ—



理事長 桐野 高明

## 理事長あいさつ

### 好生館の駐車場問題

好生館では慢性的な駐車場不足問題をかかえています。好生館においでになるときに、駐車場が空いていないために、お困りになった方も多いと思います。心からお詫びいたします。好生館が水ヶ江から現在の嘉瀬の地に新築移転してから、この問題は年々深刻となって来ました。この6年の間に病院を訪れる患者さんの数が増加したことに加え、職員の数が大幅に増加したことが駐車場問題の大きな原因です。現在職員の中で駐車場利用を希望する者が880名ほどであるにもかかわらず、館内の敷地には職員用として160台程度の駐車スペースしかありません。そのために、好生館からかなり離れた場所に職員用駐車場を設けていますが、その一つは好生館から徒歩でほぼ1kmの地点にあり、職員は毎日そこに駐車しては歩いて通っているという状態です。公共交通機関を利用する、あるいは自転車を利用するなどの通勤手段を選択する可能性が限定されている以上、職員は車を運転して通勤する他は無いのが現状です。幸いにして、2020年（令和2年）の初めには600台近くを収容できる駐車場が好生館建物の裏手に完成する予定ですので、患者さんをはじめ外からおいでになる方々の駐車場にも余裕が生まれます。このように、問題は解決する見込みではありますが、駐車スペース不足はさらに深刻になっています。少しでも早くこの問題を緩和できないか、現在種々の検討を進めています。可能な解決案であれば速やかに採用して、問題を少しでも改善できればと考えています。ご理解をいただきますように、お願いをいたします。

## 館長あいさつ

### 入退院支援、地域連携の強化

いよいよ新元号「令和」が始まり、出典の「万葉集」が巻では売り切れ続出という一大ブームとなりました。期待する新時代のスタートです。

さて、好生館では「入退院支援センター」開設後1年が経過しました。予定入院患者さんのあらゆる情報を入院前に把握し、早期に問題解決に着手することで、入院～退院の流れを円滑にマネジメントします（Patient Flow Management: PFM）。併存病態・疾患の確認や栄養士による評価、薬剤師による服薬確認等により、安全性が向上し患者さんの安心感も高まります。本年は活動が拡大され、さらなる職員負担軽減にも繋がっていくと期待しています。

また、「地域医療連携センター」では初診患者さんの混乱防止を目的に、「紹介予約制」を強調し、事前予約推進にも取り組みました。結果、昨年度の時間内初診では、87%の患者さんが紹介状をお持ちになり、うち4割（前年度より倍増）が事前予約をしていただいております。皆様のご協力に深謝いたしますとともに、「令和」でも「気持ちの通い合う連携」、そして倍旧のご支援を宜しくお願い申し上げます。



館長 佐藤 清治



## 統合準備室の新設 (総合看護学院の好生館附属化)

統合準備室 室長 吉原 久美子

好生館は来年4月より佐賀県立総合看護学院を統合することになりました。佐賀県の看護師養成は、明治32年(1899)から始まり、好生館は長年看護学院の主たる臨地実習施設として役割を担ってきました。

現在の看護教育は超高齢社会の中、複雑な状況にある患者の背景を捉え、判断し対応する高い能力が求められ、臨床現場での教育はより重要となります。好生館の強みを活かし、佐賀の看護教育の充実に貢献できる看護学院を目指し、多様な人々と仕事をしていくための社会人基礎力を育てる教育システムの構築に取り組んでいるところです。



## 脳卒中ケアユニット(SCU)開設

脳卒中センター センター長 杉森 宏

5年前に佐賀県医療センター好生館に脳卒中センターが設立されて以来の悲願だった脳卒中ケアユニット(SCU)がついに稼働を開始しました。これは脳卒中患者さんの急性期治療に特化した専門病棟で、発症から14日間以内の方々を対象としています。早期からのスムーズなリハビリテーションを行うために看護師を3対1で配置するとともにリハビリテーションの療法士も専属で配置している病床です。各職種がチームを組み、ここにいる時間のすべてが日常生活への復帰を目指した治療の一環になります。

当館はすでに超急性期治療において佐賀県はもちろん九州全体でも上位の実績を得ておりますが、このSCUによるケアと早期リハビリテーションを通じて患者さんの社会復帰にさらに寄与できるものと考えています。

スタッフ一同益々張り切っておりますのでどうかよろしくお願ひします。



## 禁煙サポート窓口を開催

総務課庶務係 溝上 亮太

厚生労働省の禁煙習慣(5月31日～6月6日)に併せて、好生館でも禁煙サポート窓口を計3日間開催しました。禁煙への関心が高まっているため、相談者は窓口で熱心に耳を傾けられていました。

昨今、医療機関は、より一層の配慮が求められます。そういった中で好生館も県民や職員の健康のため、さらに禁煙について取り組んで参ります。また、禁煙外来を週3回実施しておりますのでそちらも是非ご利用ください。



## 病院機能評価更新の認定を受けました

企画経営課 課長 剣 彰彦

病院の質改善活動の一環として、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定更新審査を2月に受審し、6月に認定を受けました。本審査では、「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」「理念達成に向けた組織運営」に対し、病院組織全体の運営管理および提供する医療について評価がなされるものです。本認定に慢心することなく、引き続き質改善を行い、最良の医療の提供を目指して参ります。



脊椎外科

佐賀県における脊椎疾患の治療に貢献します

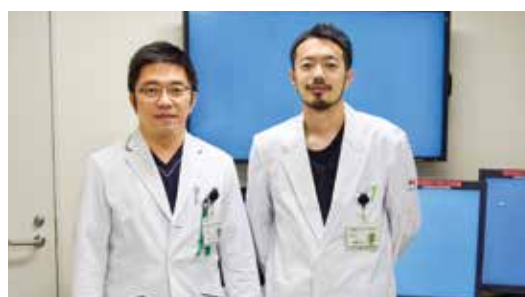
脊椎外科部長 林田 光正



皆様はじめまして。2019年4月より赴任いたしました整形外科・脊椎外科の林田光正です。2012年から2019年まで九州大学整形外科で助教として九州各県からご紹介された脊椎疾患の治療に従事し、なかでも私は側弯症や成人脊柱変形、脊椎脊髄腫瘍などの難易度の高い手術を担当していました。対象となる方がおられましたら、当院事情が許す限り対応させていただきます。

老年人口割合の増加とともに、地域における佐賀県医療センター好生館脊椎外科の果たすべき役割は増すばかりです。現在脊椎外科では地域医療に貢献すべく、脊椎外傷や神経痛、しびれに対し、昨年度より引き続き馬場覚先生と二人で可能な限り対応させて頂いています。オーソドックスな後方・前方アプ

ローチの手術はもとより、近年発展してきた低侵襲手術である脊椎内視鏡手術(MED)、経皮的椎弓根スクリューを用いた脊椎固定術(MISt)、経皮的椎体形成術(BKP)、腰椎前外側椎体間固定術(OLIF)等を積極的に取り入れています。整形外科・脊椎外科と明確に分けることなく、脊椎+四肢の多面的な病態への対応も可能な体制で診断治療に臨んでまいります。今後とも何卒よろしく願いいたします。



救急科

全ては眼前にいる傷病者のために

救急科は、横断的診療科であり、様々な急性期疾患・急性期病態における質の担保を担っております。つまり、内科的な「病気」に止まらず、「外傷」や「中毒」、「自然環境要因による病態」、「病院前医療」、「災害医療」、「入院後の集中治療」など、幅広い緊急病態に対して対応できる医師集団であるといえます。

よって、救急科の医師が救急当直に参画するということは、県民の皆様にとっても病院にとっても意義のある体制であると考えられ、その様な体制を無理なく維持していくシステム構築こそが、地域の救急医療にとって極めて重要な点となります。



救急科部長 岩村 高志



また、その実現には、一つの病院にこだわらず、地域で救急医療を構築していく視点が必要となります。今後とも、県民の皆様および連携医療機関の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。



## 循環器内科

## 心房細動に対する最新の治療を行っています

循環器内科部長 江島 健一



心房細動は高齢者に合併しやすい不整脈であり、佐賀県においてもその罹患率は高くなってきていると考えられています。心房細動患者は脳梗塞や心不全を合併しやすく、洞調律を維持するためには抗不整脈薬とカテーテルアブレーション治療があります。このたび、日本循環器学会より「不整脈非薬物治療ガイドライン」が7年ぶりに改訂されました。従来、心房細動アブレーション治療は、抗不整脈薬治療が無効または副作用で継続できない場合とされてきました。しかし今回の改訂では、症候性で再発を繰り返す心房細動の場合、抗不整脈薬による治療を試みる前に第一選択としてアブレーションを施行することを、クラスIIa(有効である可能性が高い)と位置づけました。おそらく今後は心房細動に対して、カテーテルアブレーション治療が増加していくと予想されます。

当科においては日本不整脈心電学会認定の不整脈専門医を中心としたチームにより心房細動に対するカテーテルアブレーションを行っています。心房細動のカテーテルアブレーションは痛みを伴う治療のため、全身麻酔で行っております。また、この春より最新の三次元マッピングシステム(ENSITE PRECISION™CARDIAC MAPPING SYSTEM)およびアブレーションカテーテル(TactiCath™ Quartz)を導入し従来の手法よりも安全確実に治療を行うことができるようになりました。心房細動のアブレーションについてのご質問なども、毎週水曜日の不整脈専門外来で受けておりますのでまずはお気軽にご紹介下さい。



## 膠原病・リウマチ内科

## 寛解を目指した関節リウマチ治療

関節リウマチは40～60代の女性に好発する疾患で本邦では70～100万人が罹患していると言われています。手指関節を中心に関節炎が生じ、進行すると全身の関節が破壊され、他に皮膚や目、肺、腎臓などの全身の臓器障害をもたらす慢性炎症性疾患です。関節炎による不快な痛みやこわばり、関節破壊に伴う変形で日常労作が障害され、QOLの低下にもつながります。

遺伝因子や環境要因が複雑に絡み合っていると考えられており病因は未だ不明ですが、病態に関与するTNF $\alpha$ やIL6などのサイトカインが明らかになり治療ターゲットとして応用されるようになってからは、関節破壊が起こる前に寛解を目指す治療が現実的な目標となつてきています。治療の中心はメトトレキサートと生物学的製剤ですが合併症として頻度が高い肺病変や薬剤代謝に重要な肝、腎機能を考慮することが必要です。



膠原病・リウマチ内科医長 末松 梨絵



当科でも一人でも多くの患者さんの関節破壊を抑制し、QOLが維持できるよう、安全性を考慮しながら個々に応じた治療法を提案、提供しています。

## 改めまして看護部長の佐伯です



看護部長  
佐伯 悦子

4月1日から好生館にお世話になっております。看護部長の佐伯です。

「今度の看護部長はどんな人？」との視線を感じながらこの2か月を過ごしてきました。

そんな訳で、自己紹介を含みまして、令和の時代の看護部のスタンスを簡単に述べてみたいと思います。

国立病院・国立病院機構に39年間勤めてきました。その間、看護師長、看護部長への昇任が佐賀県内の病院でしたので、キャリアの節目は佐賀ということになります。また、唐津に嫁ぎましたので今では本籍地も佐賀になりました。

平成28年、前任地の熊本で地震に遭遇し人生が変わりました。今でも「このビルが倒れたら、死ぬかもしれない」という思いは忘れることができません。看護部長としての看護管理の経験は「この日のためにあったのか」と思うほどの経験でした。そんな訳で

「看護はやり切った」との思いが強く、仕事を辞めた後は、体のメンテナンスと趣味に時間を割いていました。そのような折、好生館の看護部長にというお話があり「仕事はしない」と決心していた心が「経験が生かせるかも」と少し動きお世話になることにしました。これが他県であればお引き受けすることはなかったかもしれません。ご縁のあった佐賀県、それも佐賀県を代表する好生館で働けることに今では喜びを感じています。

さて、令和元年の看護部の合言葉は「一人ひとりを大切に」としました。患者さん・ご家族はもちろんのこと、スタッフ一人ひとりが看護に遣り甲斐を持つ組織にしていきたいと思います。看護部総勢613名、一丸となって頑張りますのでよろしくお願いたします。

## 専門・認定看護師会の開催



当院では、2006年に日本看護協会が認定する認定看護師（緩和ケア分野）が誕生し、現在は、専門看護師1名、認定看護管理者1名、11分野の認定看護師16名、日本精神科看護協会が認定する精神科認定看護師1名、合計19名が、専門医療チームや部署で実践モデルとして活動しています。

これまでは、認定看護師の意見交換や情報共有を目的とし「認定看護師連絡会」を開催していましたが、専門・認定看護師の分野や数の増加に伴い、「専門・認定看護師会」と名称を改めました。今後は、専門・認定看護師の認知度を院内外に広め、個人としての活動だけでなく、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかるために専門・認定看護師同志の連携した取り組みなど様々な形をつくっていきたく考えています。





## 佐賀県の地域周産期母子医療センターに認定されています

当センターの診療の特徴は、

1. 好生館での分娩のメリットは安心です。夜間の緊急帝王切開など、24時間体制で分娩に対応しています。
2. NICUでは、24時間体制で人工呼吸器管理などの呼吸循環管理や高度集中治療を行っています。
3. NICUでは、心臓病などの先天性疾患や概ね在胎34週以上の早産児や低出生体重児の診療を行っています。
4. 好生館の特徴は外科治療で、佐賀県内では唯一の独立した小児外科があり、新生児外科疾患の多くを治療しています。
5. 診療チームの周産期カンファレンスを毎週行って連携を強化しています。

センター長  
西村 真二



## 骨密度測定を開始しました

平成31年3月より骨密度測定が可能なデジタルX線テレビ装置を設置しました。

この装置は、腰椎および大腿骨をX線撮影することにより骨塩量を測定(DXA法)する装置で、透視機能を有しているため測定時の位置合わせを正確に行うことができます。

また、検査後に測定結果をプリントし患者さんへお渡ししますので、骨塩量が標準値を満たしているのかを確認し、その後の健康管理や治療にお役立ていただけます。

技師長  
濱田 洋



## 感染制御部 だより

### 夏休み海外旅行に出かける前に ～海外旅行の感染症対策～

海外旅行者が増加するなか、帰国後に体調不良を訴え受診される患者さんが増えています。渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も多いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。その他動物や鳥、蚊やマダニなどを介した感染症、人を介した感染症、土壌や水を介した感染症などがあります。海外で麻しんや風しんに感染することもあり、注意が必要です。事前に渡航先の感染症情報を調べ、必要に応じて予防接種を受けましょう。手洗い、水や食事への注意、防虫

対策も重要です。

海外渡航後の感染症の代表的な症状は発熱、下痢、発疹です。帰国後体調がすぐれない場合は、早めに病院を受診しましょう。受診の際には事前に電話連絡し、海外渡航歴があることを必ず伝えてください。

部長  
福岡 麻美



い りょう ほう じん      さん ふ じん か  
**医療法人 産婦人科なかなみクリニック**



■〒840-0015  
 佐賀県佐賀市木原一丁目24番38号  
 ■TEL 0952-28-5277  
 ■診療科：産婦人科  
 ■開業：平成18年10月  
 ■院長：中並 正道



**【アピールポイント】**

患者さんの立場に立った医療を心がけています。

**【モットー】**

嘘をつかない、ごまかさない。

**【趣味、休日の過ごし方】**

これといった趣味はありませんが、競馬はよくチェックしています。オルフェーヴル産駒を応援していますが、弱いですね。休日はたいがい家でゴロゴロしています。

**【医師を目指した理由】**

家が開業医でしたから、何となく医者になった感じです。

**【院長先生から一言】**

いつも患者さんを受け入れていただき、ありがとうございます。  
 今後とも、よろしくお願いたします。



い りょう ほう じん く よう かい      ない か  
**医療法人九曜会 こが内科こどもクリニック**



■〒840-0034  
 佐賀県佐賀市西与賀町大字厘外 859-15  
 ■TEL 0952-24-0541  
 ■診療科：内科、小児科  
 (消化器科、循環器科、呼吸器科)  
 ■開業：平成3年12月  
 ■院長：古賀 貴文(内科)  
 ■副院長：古賀 益子(小児科)



**【アピールポイント】**

クリニックの看板は環境に配慮し歩行者目線で小さく目立たないよう。駐車場は公園、クリニックは美術館、内部はヒーリングアートと木の暖かさ。患者さん及びスタッフがストレスを感じないようなクリニックを作れたこと。

**【モットー】**

確実なトリアージ、すべてに無駄のない医療、および心穏やかに暮らせる日常の提供。

**【趣味、休日の過ごし方】**

<ジャズ> 50歳前から本格的にドラムをはじめ、10年前からジャズのポカールを習っている。月に1回セッションに行っています。

**【医師を目指した理由】**

開業医の父親の背中をみて育ったこと。診療形態、病院のあり方等考えるところがあり現在に至る。

**【院長先生から一言】**

内科と小児科の専門医が診療を行い、ゲートキーパーの役割を果たしてきました。かかりつけ医として患者さんが自分のこと、家族のことなどなんでも話せ、相談できるクリニックでありたいと思っています。

きし かわ せい けい げ か  
**岸川整形外科**



■〒840-0027  
 佐賀県佐賀市本庄町本庄 862-1  
 ■TEL 0952-25-1351  
 ■診療科：整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科  
 ■開業：1999年10月1日 有床診療所 岸川整形外科を開設  
 ■院長：岸川 陽一



**【アピールポイント】**

運動器疾患、特に脊椎疾患および関節疾患のメカニカルな評価と治療。

**【モットー】**

姿勢や動きで変化する痛みや症状を評価して治療するマッケンジー法の日本副支部長をしています。従来の治療より治療対象が広く、投薬や注射、物理療法だけの治療より多くの人を助けることができます。

**【趣味、休日の過ごし方】**

ギター、スキー、旅行、愛犬Noirと散歩

**【医師を目指した理由】**

三代目です。父(岸川孝晟)と弟(岸川圭嗣)は好生館の外科におりました。

**【院長先生から一言】**

病診連携で大変お世話になっています。  
 整形外科はもちろん、他科の診療もたくさん連携しています。





## 患者・家族総合支援部だより

## 入退院支援センターだより

## 患者さんの安心・安全を守るために

入院される患者さん・ご家族は様々な不安を抱えておられると思います。

そんな皆様を入院前から支援する目的で「入退院支援センター」が2018年4月に開設され、この1年間で1022名の患者さんを支援させていただきました。

当センターでは患者さん1人に1人の担当看護師を付け、どのような不安や疑問にも細かく対応しています。一部の診療科から開始しておりますが、今後できるだけ早期に全ての入院患者さんを支援出来るよう、スタッフ一同努力して参ります。

入退院支援センター  
副看護師長  
河内 志津子



## がん相談支援センターだより

## 施設がん登録の件数検索システムが導入されました

このシステムは、前年度まで全国の都道府県がん診療連携拠点病院にのみ導入されていましたが、本年度より各都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会より推薦を受けた地域がん診療連携拠点病院が、国立がん研究センターの説明を受けたうえで導入されることになりました。がん診療連携拠点病院の診療実績を必要とされる方に、セキュリティ及びデータの適切な取扱いを確実に守るための免責事項と留意点をご説明したうえで、がん相談支援センターが情報提供致します。

がん相談支援センターは、氾濫する情報も多いなか、

患者さんやご家族がより確かな医療情報をつかんだうえで主治医との信頼関係を深め、意思決定することができるよう、支援する窓口です。どうぞ、ご活用下さい。

相談支援センター  
係長  
大石 美穂



## 地域医療連携センターだより

## 初診紹介事前予約の受付時間を延長しました

ご紹介いただく患者さんの待ち時間の短縮、円滑な外来診療を目的とし、①インターネット診療予約システム『カルナコネクト』、②電話・FAXによる医療機関からの事前予約あるいは、③医療機関からの事前予約が難しい場合の個人(患者さん)からの事前予約をお願いしております。従来は事前予約受付を16時(翌日の受診予約)と、17時15分(翌日の受診予約以外)まで

行っていましたが、5月7日より事前予約受付を18時までに延長いたしました。今後ともよろしくお願いたします。

※なお、カルナコネクトにつきましては、翌日の受診予約は18時まで、それ以外は24時間受付いたします。

地域医療連携センター  
係長  
泉 かおり



知っていますか

## お仕事の話

### その6 『歯科衛生士』 健口管理のスペシャリスト

歯科衛生士は、歯科医師指示のもと、歯科予防処置（歯や歯肉の状態の検査、歯石除去、虫歯予防のお薬塗布等）、歯科保健指導（適した歯磨きの助言等）、歯科診療補助（診療のサポート）を主な業務とした、歯・口腔の健康管理を、行う専門職です。

当館、歯科口腔外科では、体の病気と向き合う患者さんが、食べられる・話せるお

口を維持できるように、体の治療（手術や化学療法）の開始前から口腔内の検査・メンテナンスを行い、多職種と連携を図り、患者さんの笑顔を守れるよう支援してまいります。

歯科衛生士  
田中 香須子



### 医療安全管理部だより

#### SafetyPlus (e-ラーニングツール) を導入して

好生館では2018年度より「SafetyPlus」による医療安全の研修を行っています。

「SafetyPlus」は医療安全推進のため、国内で発生した医療事故事例をもとに作成された教育システムです。

「SafetyPlus」はパソコンやスマートフォンなどのインターネット環境下であればいつでも見ることが可能です。臨場感ある

再現動画やアニメーションがあり、興味を引く内容が満載です。事例の振り返りから事故発生時の対応まで理解しやすく学ぶことができ、個人学習にも最適です。

医療安全管理部  
GRM  
川内 ひとみ



### 事務部だより — 医事課 —

#### 医事課です

「医事課」と言いますと一般的にはあまり聞き慣れない言葉ですが、「医療事務」とお聞きになればお分かりいただけるのではないのでしょうか。

医事課では、外来診療や入院の受付、医療費の会計、医療秘書業務、そして保険請求業務など様々な業務を行っています。

患者さんが来院した際、最初にお会いす

るところが医事課となりますので、来院された方が抱えている病気などの不安を少しでも和らげ、より良い信頼関係を保てるよう、笑顔で、親切丁寧な接遇を行うように心がけています。

医事課  
課長  
坂井 光太郎





## 当館看護部長 佐伯悦子が瑞宝双光章を受章されました

令和元年春の叙勲の受章者が発表され、当館看護部長 佐伯悦子が瑞宝双光章を受章されました。功劳概要は「看護業務功労」です。5月24日(金)に厚生労働省において伝達式が行われ、当日は天皇陛下に拝謁されました。



看護部長  
佐伯悦子

事務部長  
松田篤郎



## 教育センターは最新の心肺蘇生講習会を提供しています

急性期病院の使命として、最新のガイドラインに準拠した心肺蘇生講習会を全職員が受講すべきとされています。好生館では教育センターが中心となり、AHA(アメリカ心臓協会)が推奨する Family and Friends コースを企画し、平成30年6月から平成31年1月の期間に全ての職員の方に受けていただきました。これは最も基本的なコースですが、内容は実践的であり、この成果もあって(?)、本年2月の日本病院機能評価機構の審査を無事にパスすることができました。

教育センターの中には「NPO法人好生館トレーニングサイト」があり、4月に新規採用された研修医や看護師の皆さんを中心に、フィードバック機能を有する最新式のシミュレータを用いたBLS/PEARS/ACLSコース等を毎月、提供しています。医師、看護師のみならず、多くのコメディカルスタッフの皆さんが受講されることを期待しています。院外の方も、気軽に応募してください。

教育センター  
センター長  
藤田尚宏



## 「院内がん登録統計」を発行しました!

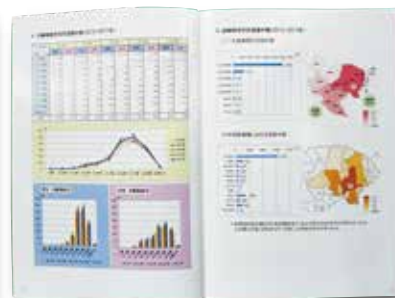
好生館では、佐賀県悪性新生物調査が始まった1973年から佐賀県へがん症例の届出を行ってきました。その後、2002年から「院内がん登録」を実施しています。

今回、2013年から5年間の院内がん登録情報を報告書としてまとめました。

2016年1月に、がん登録推進法が施行され、がんと診断された方の情報が、国のデータベースで一元管理されることになりました。「院内がん登録」は、その基礎となるデータであり、正確性が重要になります。今後も更なる精度管理に取り組んでまいります。

本報告書が少しでも皆様にご活用いただければ幸いです。

医療情報部  
がん登録係  
係長  
光石はつみ



# 外来医師一覽表

(2019年7月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時) 土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	原野 由美 松石 英城	竹下 千紘 松石 英城/原野 由美	松石 英城 原野 由美/竹下 千紘	原野 由美 松石 英城/竹下 千紘	竹下 千紘 松石 英城/原野 由美
	呼吸器内科	新患 再来 専門外来	担当医 久保田 未央 —	担当医 加藤 剛 アレルギー・喘息	休 診 岩永 健太郎/小宮 奈津子 —	担当医 加藤 剛 —	担当医 岩永 健太郎/久保田 未央 —
	肝胆脾内科	新患 再来	中下 俊哉/村山 賢一郎 島村 拓弥 富永 直之	古賀 風太 富永 直之 緒方 伸一	大座 紀子/中下 俊哉 松永 拓也 富永 直之	大座 紀子/村山 賢一郎 松永 拓也 高良 吉迪	古賀 風太/野下 祥太郎 高良 吉迪 島村 拓弥
	消化器内科	新患 再来	— —	— —	— —	富永 直之(午前) —	— —
	血液内科	新患 再来	飯野 忠史 近藤 誠司/岡本 翔 /杉本 圭一郎(午後)	岡本 翔 権藤 久司/横尾 眞子	横尾 眞子 近藤 誠司/飯野 忠史	近藤 誠司 横尾 眞子/杉本 圭一郎(午後)	飯野 忠史 権藤 久司
	腎臓内科	新患 再来	— —	中村 恵 —	— —	松本 圭一郎 —	中村 恵 —
	糖尿病代謝内科	新患 再来	吉村 達 嬉野 紀夫	吉村 達/江頭 絵里奈 —	江頭 絵里奈 嬉野 紀夫	吉村 達/江頭 絵里奈 —	— 嬉野 紀夫
	腫瘍内科	新患 再来	— 嬉野 紀夫/原田 陽平	— 嬉野 紀夫	— 嬉野 紀夫	— 嬉野 紀夫	— 嬉野 紀夫
	感染症(予約・紹介)	新患 再来	福岡 麻美 —	福岡 麻美 —	福岡 麻美 —	福岡 麻美 —	福岡 麻美 —
	膠原病・ リウマチ内科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	消化管内視鏡 (責任者)	新患 再来	— 緒方 伸一	— 中下 俊哉	— 緒方 伸一	— 富永 直之	— 緒方 伸一
	気管支鏡	新患 再来	— 加藤 剛	— —	— 小宮 奈津子	— 久保田 未央	— —
	腹部エコー	新患 再来	— 大座 紀子 古賀 風太	— *大座 紀子 *村山 賢一郎 (*隔週で交代)	— 古賀 風太 村山 賢一郎	— 中下 俊哉	— 中下 俊哉 大座 紀子
	透 析	新患 再来	— 中村 恵	— 松本 圭一郎	— 中村 恵/松本 圭一郎	— 中村 恵	— 松本 圭一郎
	小 児 科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	循環器内科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	精神科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	放射線科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	脳神経内科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
	脳血管内科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —
緩和ケア科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
禁煙外来	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
眼科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
産婦人科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
耳鼻いんこう科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
泌尿器科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
歯科口腔外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
形成外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
皮膚科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
整形外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
脳神経外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
心臓血管外科	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
人間ドック	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	
看護専門外来	新患 再来	— —	— —	— —	— —	— —	